

■ MCA との通信方法とその特徴が知りたい

FAQ No. : FAQ2001-002	DOC Rev. : 1.3	公開日 : 2010/12/06
対象 Version	スペクトルナビゲータまたはガンマスタジオのバージョンにより、サポートされるインターフェイスが異なる	
対象 MCA	MCA 全般	
キーワード	DPM、DPM-USB、USB、TCP/IP、IPX/SPX、PRN、GPIB	

【ご注意】

- ・この文書は、お客様の所有される環境で発生する可能性のある事象に対する一般的な対応策を記述しております。
- ・特定の環境では対応策が適当ではない場合も予想されます。
- ・対応策に関して弊社が保証あるいはサポートを付加するものではありません。

インターフェイス種別	特徴
DPM	<ul style="list-style-type: none">・ORTEC 社製 MCB と通信を行う専用のインターフェイスボードを使います。・DPM(デュアルポートメモリ)は専用で作られたボードであり、高速にデータメモリのアクセスが行えます。・TRUMP や μACE 等のカード MCA もこのインターフェイスに属します。・MCB との接続は専用のフラットケーブルで行います。また複数の MCB を接続する場合(最大8台)、複数接続可能な専用ケーブルがあります。
DPM-USB	<ul style="list-style-type: none">・DPM 通信を USB 通信に変換します。・DPM インタフェースを持つ ORTEC 社製 MCB と通信できます。・MCB との通信には USB インタフェースを使用し、高速な通信が行えます。また複数の MCB を接続する場合、デジチェーンにより接続できます。
USB	<ul style="list-style-type: none">・USB によるシリアルバス通信を行います。・MCA との接続は USB ケーブルを使用します。・電源供給された USB HUB を使用することにより、1 台の PC から複数台の MCB と接続できます。
TCP/IP	<ul style="list-style-type: none">・世界標準である TCP/IP プロトコルによるネットワーク通信を行います。・MCA との接続は 100BASE-T または 10BASE-T いずれでも可能ですが、必要に応じ専用の MAU または HUB を用意する必要があります。・1 台の PC から 1 台の MCA を制御する場合、クロスケーブルによる直接接続が行えます。
IPX/SPX	<ul style="list-style-type: none">・NetBIOS を使った IPX/SPX 互換プロトコルによるネットワーク通信を行います。・MCA との接続は 100BASE-T または 10BASE-2/5/T いずれでも可能ですが、必要に応じ専用の MAU または HUB を用意する必要があります。 <p>※ Windows 7 ではサポートされていません。</p>

PRN	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンに標準装備しているプリンタポート(LPT)を使い、MCBと通信を行います。 ・DPMほど高速ではありませんが、データのリアルタイムモニタが行えます。 ・MCBとの接続は専用のパラレルケーブルで行います。また複数のMCBを接続する場合、デジチェーンにより接続できます。
GPIB	<ul style="list-style-type: none"> ・ナショナルインスツルメント社製 GPIB ボードまたは USB 用外部 GPIB コントローラによるパラレルバス通信を行います 同社製の PCI カード、PCMCIA カードまたは USB 用外部 GPIB コントローラを使用できます。(上記メーカー以外のボードやコントローラは使用できません。) ・データメモリのアクセスが高速に行えます。 ・MCB との接続は専用の GPIB ケーブルで行います。 また複数の MCA を接続(プログラムとしては最大 16 台)する場合、デジチェーンにより接続できます。 <p style="text-align: center;">※GPIB 製品の詳細については、ナショナルインスツルメント社にお問い合わせ下さい。</p>